

SSKU
 さん さん ニュース
 SunSun



編集 CILふちゅう

CILふちゅう

VOL.11

〒183-0055 東京都府中市府中町2-20-13 丸善マンション1F

TEL 042-314-2735

FAX 042-314-2736

E-MAIL cilfuchu@tt.rim.or.jp



音楽は人の人生をも変えてしまうほどのパワーがある。原始人も日常的に音を奏でていたとい
 うから、人類と音楽との付き合いはもう随分と長いのだ！私はまだ30年ほどしか付き合ってい
 ないから付き合いだてのカップルのような新鮮さだね。これからも仲良くやっぺいこう！人生
 はロックンロールだぜベイビー！！

ピニオン



山本恵一郎

さいきん ちか ディーバイディー 最近、近くのレンタルビデオショップのD V Dコーナーの品揃えが充実してきて嬉
 しい。映画は出来ればビデオよりも ディーバイディー D V Dで観たい。その理由の一つが字幕である。
 ほとんどの ディーバイディー D V Dソフトでは音声だけでなく、字幕も日本語か英語かを選ぶ事が
 出来る。これが格好の英語の教材なのだ。勉強したいという気持ちはあるけどテキスト
 や辞書を開くのが面倒臭い物臭な自分にはピッタリの学習法、というか暇つぶしである。
 学習と言っても、字幕を英語にして気になったフレーズや単語をチェックするだけのこ
 とだが、やり始めると結構はまってしまう。台詞の一言一言が気になって、止めては観
 てをくり返していると、1時間半の作品が観終わった時には3時間位経っていることも。
 (笑)

ところで皆さんは邦画と洋画どちら派ですか？ 私は最近までほとんど洋画しか観
 せんでしたが、最近邦画も観るようになりました。意識して邦画を避けていたわけでは
 ないけれど、邦画というと寅さんとか、健さんとかちよつと演歌っぽいイメージがあつてな
 んとなく食わず嫌いなところがあつたのかもしれませんが。日本映画界にも個性的な監督
 がたくさんいて、商業的には成功してなくてもすばらしい作品がたくさんありますね。と
 いう訳で今回は邦画から2本の作品を紹介します。

「ハッシュ」 監督：橋口亮輔

土木研究所で働く勝裕（田辺誠一）とペットショップで働く直也（高橋和也）は最近
 知り合つて同棲を始めた30代の同性愛カップル。そこに人生諦めモードの入つた
 孤独な30代の女、朝子（片岡礼子）が現われて3人の不思議な関係が始まる。3人と
 もなんとなく人生に物足りなさを感じながら生きている。朝子が勝裕に子作りへの協力
 を求めるところからストーリーは展開していく。

テーマは「複雑な現代社会に生きる少数派の鬱屈と孤独感？」しかし映画の方はコ
 メディータッチというかラブコメですね、これは。

役者が主役、脇役問わずとてもよかった。特に田辺と高橋のカップルの演技はナチュ
 ラルで、2人の微妙な会話に笑つたり共感したり、2時間15分という長さをまったく感じ
 させない映画だ。

この手の作品はテーマがテーマだけに重苦しくなったり、作り手の思いが強すぎて、押し付けがましくなりがちですが、この作品は普通にさらっと楽しめて、それでいて色々なことを考えさせる稀な作品だと思う。最近のイチオシです。

「東京夜曲」 監督:市川準

舞台は東京の下町。3年間の失踪から帰ってきた中年男（長塚京三）とその妻（倍賞美津子）、男の元恋人（桃井かおり）の3人の大人の恋物語り。

若かった頃の苦い恋を引きずりながら生きている中年の男女。色々な思いを胸に秘めながら、一見平穏な日常を送っている。

とても静かで繊細な映画です。全体を通して情景描写が多く台詞も少ないので、ハリウッド映画が好きな人は絶対寝ます！心地よさも度が過ぎると退屈になってしまうけど、退屈するかしないかのギリギリのところで微妙なバランスを保っています。ベテラン役者3人の抑えた演技はさすがですね。

当たり前ですが、この世に生きている人達一人一人の日常の中にもそれぞれのストーリーがあるんですね。観終わった後ふとそんなことを考えてしまいました。切ないねー。

自立生活プログラムセミナーを開催して

去る5月28日、CILふちゅう主催の自立生活プログラムセミナーを開催しました。

自立生活プログラム(以下ILPと略す)とは、障害を持った人が、地域で自立生活をしていく上で、必要なノウハウを身につけるために行うプログラムです。

ILPは普段は、障害当事者だけで行うプログラムですが、今回はILPを広く知っていただくために、「障害者が自立生活するって、どういうこと？」と題し、障害のない方にも参加していただくようにしました。

前半は自立生活センターの紹介ということで、ILPやピア・カウンセリング、介助者派遣事業など、障害者が力をつけていくために必要なサービスについてお話ししました。

休憩をはさんで後半は、まず、障害者が自立するために必要なことを、参加者全員に考えてもらいました。ここで私が驚いたことは、みんながたくさん話してくれたことです。ILPの約束事のひとつに「時間を対等に分ける」というのがあって、プログラム中は1人2分間、3分間と時間をはかります。しかし話をしてもらっても、話すことに慣れていないとか、緊張しているために、最初は時間をもてあましてしまうことが多いのですが、今回はそのようなことがなく、特に2人1組でお互いの話を聞きあう場面では、「もう時間が来てしまったの？」とあちらこちらから「話し足りないよー！」の声が聞かれ、びっくりしたと同時に、みんなきちんと考えてくれているんだなあ、と嬉しくなりました。

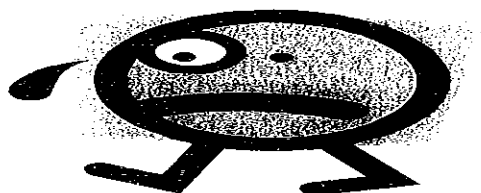
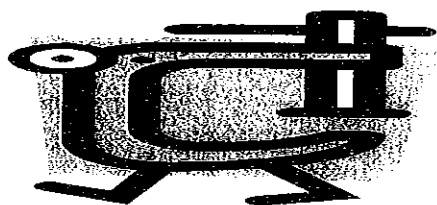
私はセミナーの後半だけではありませんでしたが、リーダーシップをとりました。これまでリーダーの経験も少なく、2月にCILふちゅうのスタッフになって以来初のリーダーだったので、実はかなり緊張していました。けれども、障害を持っている人が自立するのに必要なことは、自分のことを自分でやることでも、経済的に自立することでもなく、自分の生活を自分で決定し、作っていくことであり、自分の行動に責任をもつことである、という、ILPの大原則は、伝えることができたと思っています。

今後もいろいろなプログラムを企画していきたいと思っていますので、皆さんも参加してみてください。

(文責 松田)

しゅうちゅうこうざ あんない

ピア・カウンセリング集中講座のご案内



CIしゅちゅうでは、「障害を持っていても地域の中で自分らしい生活」を送るためのサポートとして、障害当事者の立場から自立生活プログラム、ピア・カウンセリング等のサービスを行っています。とくに、ピア・カウンセリングは、障害を持つ仲間同士がサポートしあう関係の甲から、「自己信頼」を築き、よりバワフルに自己実現にむけて生活を広げていくことを目的としています。ピア・カウンセリングの良さを知っていただき、サポートしあう仲間を増やすために「ピア・カウンセリング集中講座」を今年も下記のと領で開催します。ご参加をお待ちしています。

記

- 日 時 2003年11月16日（日）～11月18日（火）2泊3日
PM12:30 ～ PM13:00
- 場 所 東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室・宿泊棟・その他
- 定 員 8名 先着順（応募者多数の場合は選考します）
- 参加資格 障害を持つ方でピア・カウンセリングに興味のある方
- 参加費 15,000円（宿泊費3,000円含む。ただし食事代・介助料は別途かかります）
会場内に食堂、近くにレストラン、コンビニ等があります。
- 締め切り 2003年10月22日（水） 申込用紙を郵送または FAX でお送りください。
なお、参加費は参加が決まりしだいご連絡しますので、後に口座振込でお願いします。

☆ プ ロ グ ラ ム ☆

日 時	内 容
11月16日(日)	
12:30~13:00	☆受 付
13:00~13:30	オリエンテーション
13:30~14:30	リレーションをつくる
14:30~15:00	休 憩
15:00~17:00	ピア・カウンセリングとは
17:00~18:30	夕 食
18:30~20:00	人間の本質
11月17日(月)	
9:00~10:30	ニュー&グッズ・感情の解放
10:30~10:45	休 憩
10:45~12:30	障害について
12:30~13:30	昼 食
13:30~15:15	サポートグループ
15:15~15:30	休 憩
15:30~16:30	アプリケーション
16:30~18:30	夕 食
18:30~20:30	交 流 会
11月18日(火)	
9:00~11:00	自立生活プログラム・私たちの権利
11:00~11:15	休 憩
11:15~12:30	感 想 会

残りの暑さ

ニャン^{きち}吉^{けだま}毛玉^{まゆ}ストロイ

ニャン^{きち}吉^{しろ}の白^{みみ}耳^{うご}がピクッと動^{きち}きました 柔^{やわ}らかな冬^{ふゆ}の午^ご後^ごの日^ひに、
その暖^{あたた}かさ^{ゆめ}を夢^{ゆめ}にみるニャン^{きち}吉^{きち}はイカ^{きち}をくわえていました いじ
わるなゆ^{まへ}み^{まへ}ちゃんにテレビ^{まね}のみ^{おそ}すぎ^{おそ}で覚^{おぼ}えたガ^まメラ^ねの真^ま似^ねをして襲^{おそ}
いか^{おも}かられる前^{ゆめ}にイカ^だを食^だべなくち^だゃと思^だったとき夢^だは脱^だ兎^だのよう
に去^さりました ポ^さオー^さっと

頭^{あたま}は幻^{まぼろし}のイカ^{まぼろし}でみちていました そのときイカ^{まぼろし}があらわれまし
た 少^{すこ}し太^{ふとめ}目^めのそのイカ^{まぼろし}は、ニャン^{きち}吉^{きち}のかわいらしい口^{くちもと}元^{もと}をなかば
あけ去^さろうとするのです 「ミヤアオ、ミヤアオ」（ま^まってま^まって）
お^おそ^そるお^おそ^そる触^{さわ}ると、イカ^{まぼろし}は生^いきているようにニャン^{きち}吉^{きち}のよこをす
りぬけるのです お^おそ^そるお^おそ^そる ダ^だー お^おそ^そるお^おそ^そる ク^くタ^たク^くタ
お^おそ^そるお^おそ^そる コ^こロ^ろコ^こロ なん^{なん}どか^かくりか^かえすと敵^{てき}も疲^{つか}れたのでし
ょう とど^{とど}めをさ^まそうと前^{まへあし}足^{あし}でお^おさえ、噛^かもうとして匂^{にお}いが変^{へん}だと
目^めをガ^がっと開^{ひら}き、脳^{のうてん}天^{てん}にタイ^{たい}ガ^がーバ^ばームのよう^{よう}な刺^{しげ}激^{げき}臭^{しゅう}をふりま^まき
サイ^{さい}バ^ばーア^あイ^いオー^おガ^がニ^にゼ^ぜイ^いシ^しョ^ョンのス^すイ^いツ^つチをい^いれよ^よく見^みまし
た ナ^なナ^なナ^なント、イカ^{おも}だとばかり思^{おも}っていた物^{もの} それは白^{しろ}い白^{しろ}い毛^{けだま}玉^{たま}
でした

靴^{くつした}下^{した}を履^はきス^すッ^すテ^てンニャン^{きち}吉^{きち}

フ^ふァ^あー、なん^{なん}て平^{へい}和^わな世^せ界^{かい}ニャン^{きち}だ^だろ に^にゃ^んん^んき^きち^ちは煮^に干^{ぼし}の匂^{にお}いを
さ^させ、そのし^せた^たで背^せ中^{なか}をな^なめまし^した ル^るド^どル^るフ（流^{りゅう}離^りのノ^のラ、見^み
か^からにや^やせて鋭^{すど}いカ^かン^んジ）が2^にノ集^{しゅう}会^{かい}にあら^{あら}わ
れ^れてからと^とい^いうものニ^にャ^んん^ん吉^{きち}はど^どうも気^きにな^なって勝^かっ^って勝^かち^ちが違^{ちが}うのです 意^い地^ぢ悪^{あく}由^ゆ美^みちゃん^{ちゃん}が

キャットフードをくれても (アイツは飯にありつけたかな) とか (ア
 イツも食^たべてるかな) とかね 気持ちよく眠^{ねむ}ったあとは、こ腹^{はら}がす
 きます ほどよくぬるいミルクとチーズのかたまりなんてスキャンピ
 由美^{ゆみ}ちゃんが準備^{じゅんび}するわけないニャーなんてことを考^{かんが}え足^{あし}を踏^ふみ
 出^だしました ブル^{ひとふる}っと一震えして、おもむろに背筋^{せすじ}を伸^のばしまし
 た ?ズルッ?? 「ヒエー後足^{あとあし}が戻^{もど}らない」クッククック笑^{わら}って
 る場合^{ばあい}じゃない「ルドッ! たすけて」僕^{ぼく}はこけた よく見^みると白^{しろ}い
 靴下^{くつした}をはいていた クッククック

さく*はるのうらら



このころ思うこと

とつぜん げんこう か しれい くだ し き まちか だいな
突然、この原稿を書くよう指令が下された。締め切り間近、しかもお題無し。

そりゃないぜセニヨリータ！ってなもんで。

なん か い こと こと
何でも書いていいって言われても…。 ちゃあ、あんな事やこんな事、かいちゃ
うぞ。クヒヒ。

い ばあい なにか
とか言ってる場合ぢやねえ！マジ何書こう…。

んーっと。アタシがこうして上京して、一人暮らししてやつをされているのもC
ILふちゆうのような自立生活センターってものがあったから。

そして、なによりそういう団体があるって事を教えてくれた友達がいたから。

それまでアタシは一人暮らしなんて無理だと思っていたし、

むしろ、そういう事業所がある事すら知らなかった。とにかく無縁の世界。

でも、その友達がきっかけを与えてくれた。

そこからCILふちゆうのサポートを受けながらブーワァー！もんすごい勢いで

あた せいかつ たど つ じょうきよう かか かた
新しい生活に辿り着いた。上京してから、ヘルパーとの関わり方や、

くち つた こと むずか つら こと あ
口だけで伝える事の難しさ、もどかしさ…辛かった事を上げればキリがないし、

ぎゃく い がいじん せつしよく
逆に。ライブに行きまったり、クラブでかっちょいい外人と接触してみたり、

あさがえ たの こと あ
フツーに朝帰りしてみたり、楽しかった事を上げててもキリがない。

それは今も進行中で、毎日充実して実家にいるより遥かに刺激ある生活を送ってる。全てにおいて自己責任ってのが嬉しいね。

アタシが思うのは、“きっかけ”ってすごい大切だなあってこと。

あの時、友達が教えてくれなかったら今頃アタシは悪態ながらまだ実家にいるだろうな。

だから、もしあの頃のアタシみたいに何の情報もなく、ただひたすら納得行かない毎日を送っていて、自分はこの生活しかないんだって思い込んでる人達がいるのなら、こんなスゲー生活も選択可能なんだよって事をどんどんシャカリキに教えてあげたい。

そんなこんなで最近の自分はケアCILふちゅうのような支援する側の立場なのに非常に非常に興味ていんていんな今日この頃であります。

いちょ！

こんなんでいいのかっ！？

ささき ゆうこ
佐々木 祐子

かばの Oh!あくび

～愛煙家とコーヒー飲み～

この間丸一日、普段取りためていた映画を、コーヒーを飲みながら五本見た。
僕は映画と同じくらいコーヒーも好きだ。

最近、道を歩いている、やたらタバコの吸殻が目につく。携帯灰皿を使う人が、
少ないのだろうか？

昨日の帰り、電車に乗っていると「健康増進法……の為、〇〇線では全駅、
終日禁煙とさせていただきます」という放送が流れた。それを聞いて、僕はす
ぐに道に落ちている煙草の原因はこれだと思った。きっと、職場でも禁煙の空気
があって、喫煙所でしか吸えなくなり、家では子供の健康に良くないからと、外
で「ホテル族」になって、さらに、全駅が終日禁煙になると、愛煙家にとって
煙草を吸う場所が限られてくる。やむを得ず、歩きながらしか吸えないから、歩
き煙草が増えるし、ポイ捨てが増える気がする。

さすがに、五本もぶっ続けで見ると疲れた。結局その日は、コーヒーを十六
杯飲み干してしまった。“良く飲む”と自分でもそう思うが、飲めなくなる。だ
から飲める時間に大量に飲む(ちょっと言い訳かな?)

煙草を吸う人にとっては、歩いているときこそ、ゆっくり吸える時間になっ
ているのではないか。でも愛煙家じゃない、ぼくが心配することでもないか。

それにしても「ニコチン中毒」と「カフェイン中毒」では、どっちが身体に
悪いのかな……。

椋島 剛之

税務会計・確定申告・相続・会社設立その他各種相談

高橋会計事務所

東京都世田谷区北沢2-3-12友和ビル1F

TEL 03-3414-1383

携帯 090-7929-4898

オケキョ

ホーホケキョ、キョキョキョ♪ ウグイスの^{こえ}声^{ちからづよ}って力^{うつく}強く美しく、

^{あおぞら}青空^{はな}の花^{はる}です。春^{ぬる}のうす^{かわ}ぼんやりと温^{ぬる}んだ川^{かわ} そのせせらぎに、

^{ただよ}漂^{くさ}う草^しの詩^ああす^{はる}でき^{すずめ}だ^{はる}な^のなんて^お雀^おは^{ごえ}春^{つた}の野^{つた}を^{つた}かけ^{つた}大^{つた}声^{つた}で^{つた}伝^{つた}えます

^う生^あま^あれた^あた^あて^あの^あ朝^あ露^あが^あキャ^あベ^あツ^あの^ああい^あだ^あを^あ転^あげ^ある^あ時^あに^あだ^あす^あ密^あか^あな^あア^あリア

「^{ぼく}僕^{すずめ}、^{すずめ}雀^{きち}の^きチュ^{ひと}ン^{つばし}吉^き 一^きツ^お橋^{とし}は^{とし}パン^{ぼく}く^{ぼく}ず^{ぼく}や^{ぼく}木^{ぼく}が^{ぼく}多^{ぼく}く^{ぼく}て^{ぼく}都^{ぼく}市^{ぼく}に^{ぼく}す^{ぼく}む^{ぼく}僕^{ぼく}ら^{ぼく}の

オアシス^さ、それとアレ」^ホホ^ホケ^キョ、^ホー^ホケ^キョ♪^キョ^キョ

ケ^キョ^ケキ^ョホー^ホケ^キョ、^{ひと}一^{さえず}し^{こえ}き^{こえ}り^{こえ}わ^{こえ}た^{こえ}る^{こえ}声^{こえ}、^{ひめ}そ^{ひめ}う^{ひめ}グ^{ひめ}イ^{ひめ}ス^{ひめ}姫^{ひめ}

の^{だれ}こ^{だれ}え^{だれ} ^{たか}誰^{たか}よ^{たか}り^{たか}高^{たか}く^{たか}ふ^{たか}る^{たか}え^{たか}、^き木^きの^きて^きっ^きぺ^きん^きよ^きり^き響^きく^き天^きの^き声^き

ウ^{ぼく}ク^{ぼく}コ^{ぼく}の^{ぼく}あ^{ぼく}と^{ぼく}に^{ぼく}つ^{ぼく}い^{ぼく}て^{ぼく}ど^{ぼく}れ^{ぼく}く^{ぼく}ら^{ぼく}い^{ぼく}に^{ぼく}な^{ぼく}った^{ぼく}か^{ぼく}な^{ぼく} ^{ぼく}僕^{ぼく}は^{ぼく}す^{ぼく}ず^{ぼく}め^{ぼく}だ^{ぼく}け^{ぼく}れ^{ぼく}ど

ある^ひ日^ひ、^{ついで}パン^{ついで}を^{ついで}啄^{ついで}ば^{ついで}ん^{ついで}で^{ついで}い^{ついで}た^{ついで}ら^{ついで}あ^{ついで}の^{ついで}こ^{ついで}え^{ついで}に^{ついで}ミ^{ついで}ョ^{ついで}ー^{ついで}に^{ついで}ひ^{ついで}か^{ついで}れ^{ついで}て^{ついで}、^{まわ}ウ^{まわ}グ^{まわ}コ^{まわ}の^{まわ}回^{まわ}り^{まわ}に^{まわ}つ^{まわ}い^{まわ}て^{まわ}い^{まわ}る

ウ^{ぼく}グ^{ぼく}コ^{ぼく}に^{ぼく}あ^{ぼく}っ^{ぼく}ち^{ぼく}に^{ぼく}行^{ぼく}く^{ぼく}よ^{ぼく}う^{ぼく}に^{ぼく}言^{ぼく}わ^{ぼく}れ^{ぼく}た^{ぼく}ら^{ぼく}そ^{ぼく}う^{ぼく}す^{ぼく}る^{ぼく}つ^{ぼく}も^{ぼく}り^{ぼく}だ^{ぼく}け^{ぼく}ど^{ぼく}言^{ぼく}わ^{ぼく}れ^{ぼく}な^{ぼく}い^{ぼく}な^{ぼく} ^{ぼく}僕^{ぼく}は^{ぼく}渡^{ぼく}る

わ^{きらく}け^{きらく}じ^{きらく}ゃ^{きらく}な^{きらく}し^{きらく}気^{きらく}楽^{きらく}な^{きらく}雀^{きらく} ^{すずめ}誰^{すずめ}の^{すずめ}後^{すずめ}を^{すずめ}追^{すずめ}い^{すずめ}か^{すずめ}け^{すずめ}よ^{すずめ}う^{すずめ}と^{すずめ}文^{すずめ}句^{すずめ}は^{すずめ}い^{すずめ}わ^{すずめ}れ^{すずめ}な^{すずめ}い^{すずめ} ^{みがる}身^{みがる}軽^{みがる}な^{みがる}身^{みがる}の^{みがる}上^{みがる}重^{みがる}

い^{こい}恋^{こい}、^いど^いう^いせ^いむ^いく^いわ^いれ^いな^いい^いけ^いど^いす^いず^いめ^い一^い匹^い身^いを^い尽^いく^いし^いて^いと^いこ^い ^{おわ}終^{おわ}り^{おわ}

ウ^ちグ^ちイ^ちス^ちマ^ちメ^ちマ^ちメ^ち ^ち知^ち識^ち

ね^{とき}え^{とき}ね^{とき}え^{とき}ウ^{たまご}グ^{あたた}イ^{あたた}ス^{あたた}つ^{あたた}て^{あたた}時^{あたた}々^{あたた}ほ^{あたた}と^{あたた}と^{あたた}ぎ^{あたた}す^{あたた}の^{あたた}卵^{あたた}、^{あたた}温^{あたた}め^{あたた}る^{あたた}ん^{あたた}で^{あたた}す^{あたた}つ^{あたた}て^{あたた} ^{あたた}そ^{あたた}う^{あたた}し^{あたた}て^{あたた}ち^{あたた}ょ^{あたた}っ^{あたた}と^{あたた}は

^{はや}早^{たまご}く^{たまご}か^{たまご}え^{たまご}った^{たまご}よ^{たまご}そ^{たまご}の^{たまご}こ^{たまご}は^{たまご}ウ^{たまご}グ^{たまご}イ^{たまご}ス^{たまご}の^{たまご}卵^{たまご} ^{たまご}あ^{たまご}る^{たまご}い^{たまご}は^{たまご}雛^{たまご}を^{たまご}追^{たまご}い^{たまご}落^{たまご}と^{たまご}す^{たまご}の^{たまご}で^{たまご}す^{たまご} ^{たまご}な^{たまご}に^{たまご}も^{たまご}そ^{たまご}こ^{たまご}ま

で^{おも}し^{おも}な^{おも}く^{おも}て^{おも}も^{おも}い^{おも}い^{おも}と^{おも}思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す^{おも} ^{いっしょうけんめい}一^{いっしょうけんめい}生^{いっしょうけんめい}懸^{いっしょうけんめい}命^{いっしょうけんめい}育^{いっしょうけんめい}て^{いっしょうけんめい}た^{いっしょうけんめい}子^{いっしょうけんめい}が^{いっしょうけんめい}よ^{いっしょうけんめい}そ^{いっしょうけんめい}の^{いっしょうけんめい}子^{いっしょうけんめい}つ^{いっしょうけんめい}て^{いっしょうけんめい}か^{いっしょうけんめい}な^{いっしょうけんめい}り^{いっしょうけんめい}劇^{いっしょうけんめい}的^{いっしょうけんめい}で^{いっしょうけんめい}す

春野うらら*さく

ピニョンの部屋

只今ジャズの調査をしている番長改めピニオンと申します。ピニオンという名前はフランス映画に出てくる主人公の名をそのまま頂いたものです。

潮田さんにも協力して頂いて(本人には迷惑かもしれないけど)、中央図書館に白ごと出向いてはジャズの棚を漁り、これぞと思ったCDは借りてきてCD-Rに焼いて私のライブラリーに収まっています。まだモダン・ジャズにはたどり着けないけど、あらかたのCDが集まったら何れ挑戦するつもりです。

私の知っている歌手でピング・クロスビーがいます(他にもいるんだけど忘れちゃって...)。彼は1902年ワシントン州郊外のタコマの生まれ(という説もある)。本名ハリー・リリス・クロスビー。大学時代には友人らとバンドを結成、クロスビーはドラムスを担当していた。その学友にアル・リンカー(白人女性歌手の開祖と言われたミルドレッド・ベイリーの弟)、その後作詞家となる(本当かよ)バリー・ハリスらとポール・ホワイトマンの楽団に参加し、ホワイトマン・リズム・ボーイズがここに誕生した。

楽団一座はその後、1930年に初の2原色テクニカラー映画「キング・オブ・ジャズ」(ユニヴァーサル)に出演することになるが、クロスビーはそれ以前に飲酒運転で逮捕されており、映画出演のときだけ監視員付きで出演した。

その後ソロ歌手として再出発を計り、CBSラジオで数本のレギュラー番組を持つまでに成長した。映画出演もキャリアが長く、以前チャップリンの映画を監督したマック・セネット監督の短編を始めとして、'34年のパラマウント映画社で戦後を含め推定30本、一時コロムビア映画社(現:ソニー・ピクチャーズ)で推定4本残している。歌う映画スターはこの人が最初と言われるほどである。それだけの富と名声を得ながらも、この芸能界で親友と呼べる人物はルイ・アームストロングを家に招き入れた以外はあまりいならしく、

晩年はゴルフが趣味だったらしく、よく自宅の庭でスウィングの練習をしていた。結婚は1930年に20世紀フォックスのまだ無名に近い女優さんだったが、早くに死なれ、再婚している(両方とも妻の名前は忘れてしまいました)。

初の来日公演を前に控えて郊外のゴルフコースでプレイ中に心臓発作で倒れて、'77年に76年の生涯を閉じた。

晩年は、オリン・キープニュース氏のインタビューにもノーコメントを貫き通すほど物忘れが激しかったらしいと言われているが、定かではない。ただ赤の他人と接触するのがとても嫌だったことは確か。これが私の知っている限りの完璧とは言えない情報である。

どなたか他のミュージシャンについての情報があれば、どしどし寄せてきて下さい。お待ち申し上げます。

'03年7月、自宅にて。

姉さん！！事件です・・・

以前からお伝えしていました、「ヘルパーのみなし証明書」「健康診断の結果報告書」「ホームヘルパー2・3級の証明書のコピー」の提出がまだ済んでない人が大勢おります……。これらの書類の提出がないと当局からの指導により今後仕事が出来なくなってしまう可能性が高まってまいりました。まだ提出していない人は『大至急』事務所に郵送もしくはご持参ください。CILはヘルパーのみなさんの活躍で成り立っております。今後も活動が続けられるようよろしくお願ひします。

- ※ ①のみなし証明書・・・2003年3月31以前にヘルパーの仕事をしていた人が権利を保有しています。わからない人は事務所に問い合わせてください。この証明書により出来る仕事の範囲が広がり、その結果報酬アップにつながりますので2・3級を持っている人も申請しておいたほうがいいですよ。
- ②健康診断の結果報告書・・・今年度中に健康診断を受けた人、または受ける予定がある人はその旨をご連絡の上結果のコピーを提出して下さい。受ける予定がない人は、当方で行います「健康診断」を受けてください。費用は無料です。早期発見、早期治療が長寿の秘訣ですよ！
- ③ホームヘルパー2・3級証明書・・・講習を受けてこれらの資格を保有している人は証明書のコピーを提出して下さい。

HAI CUT

manholes

府中初の完全バリアフリーサロン！
イケメン美容師多数在籍
指名料無料・託児所完備
アフターはあなた次第??

府中市分梅町 3-2-2 ファーミールビレッジ 102
TEL042-362-6818（優先予約制）



編集後記

CIL ふちゅう「SUNSUN ニュース」いかがでしたか？今回も無事に発行できて、たいへん嬉しく思っています。協力して下さった利用者の方皆さん、原稿を書いて下さった皆さん、職員一同、感謝すると共に今後とも関わって下さる皆さんと協力しあいながら、機関誌運営をやっていきたく思っておりますのでよろしくお願いいたします。利用者の方皆さんのご参加もお待ちしておりますので、ご意見・ご感想、また載せてみたい記事等がありましたらCIL ふちゅうまでどうぞ！よろしく。

表紙ページのご紹介

今回、表紙の絵を書いて下さったのは本編に登場している、ピニョンさんです。音楽以外の世界にもかなりマニアックなアプローチを続けているピニョンさんが、機関誌の表紙に初挑戦してくれました。我々凡人には達することの出来ない境地に達したピニョンさんならではの独創的なアートですね。これからはCIL ふちゅうの芸術部長としてのご活躍を期待しています。



発行人

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21（定価百円）